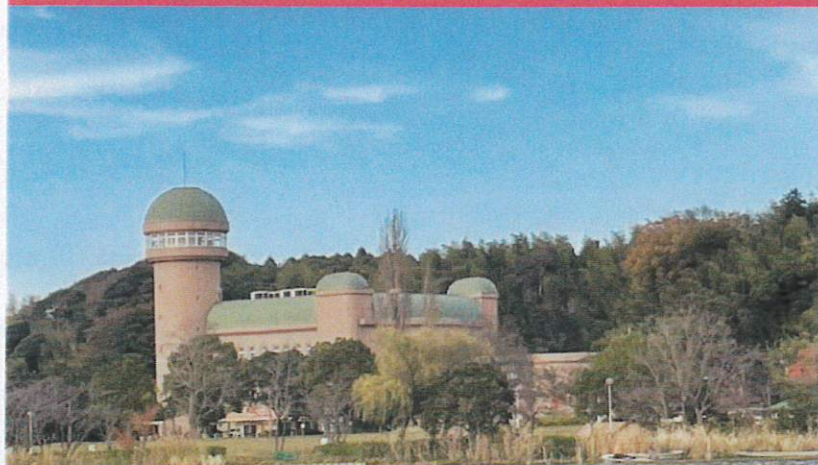




年間の光熱水費 4 億 8 千万円 こんなにかかるの!?

予算審査特別委員会 12 月補正での驚き!

令和4年度12月我孫子市一般会計補正予算(第10号)において519億4千7百万円が可決された。(追加補正第11号で新たに520億2千4百万円可決)その中に含まれている一般財源の1億7千4百88万8千円が光熱水費であることに驚いた。説明内容は、電気料金及びガス料金の上昇により、各施設に係る光熱水費に不足が見込まれるための増額である。この背景には、ロシアによるウクライナの軍事侵攻が影響を及ぼし、燃料費、食料費、原材料費等の物価高騰に及んでいる。予算審査特別委員会の委員として、先ず各施設の中で光熱水費が高い生涯学習センター、鳥の博物館、手賀沼親水広場に足を運び調査とともに担当課へのヒアリングを行った。

結果、生涯学習センターでは、前年同11月は、約50万円に対し、今年の11月が、約129万円で2.58倍また、鳥の博物館では、前年同11月は、約18万円に対し、今年の11月が、約43万円の2.38倍という驚きの額であった。更に委員会質問において、担当課から過去3年間の全庁及び各施設の総額を尋ねたところ令和元年度、4億6千万円、令和2年度、4億2千万円、令和3年度、4億8千万円との回答であった。家庭用の電圧との違いがあり、同様の計算式にはならないが本市の61,266世帯で計算すると一世帯当たり7,835円の負担になる。今後も長期化すると見込まれる光熱水費に対し、節電対策に取り組むとともに職員や市民への周知と理解を求め対応するよう要望した。

『たけの子広場の集い』

6月中旬、栄町『たけの子広場』にて、地域ボランティアの皆さんで手賀沼課から届いた花の苗を植え変える作業を実施。季節の変わり目の花は鮮やかで美しく皆さんも楽しく会話をしながら「この花はどこがいいかな、間隔を広めにしたら、こんな感じがいい?」など笑い声が響く中、スコップを片手に思い思いに花の苗を植える作業に汗を流していた。



9月初旬、桜の木を伐採する作業が行われた。倒木の恐れのある桜の木の場合で地域住民の方が手賀沼課に相談を持ち掛け、話し合いが進められる中、専門的知識を持つ樹木医の診断により、落木、倒木、害虫侵入による腐食の恐れがあると判断され伐採することとなった。春の桜の花見を楽しみにしていた住民の皆さんも寂しさを感じながらも安全管理を優先することに理解を示された。引き続き市民の憩いの場やコミュニケーションの場として利用されていくことを願いつつ担当された方々に感謝いたします。

